

浜銀総研 News Release



2013年11月22日

2013年冬の神奈川県民ボーナスの見通し

民間1人あたりのボーナス支給額は前年比1.8%増に

要 旨

民間企業に勤める神奈川県民1人あたりの今冬のボーナスは、製造業を中心に企業業績の回復傾向が鮮明になっていることなどを反映して、前年比1.8%増の45.6万円になると予測した。また、景気の持ち直しを受けて雇用者数が増加し、ボーナスを支給する企業の割合も上昇するため、支給対象者数も増加するとみられる。この結果、民間の総支給額は同3.2%増になると見込んだ。なお、公務員の1人あたり支給額は前年比0.2%減を見込む。民間と公務員とを合わせた官民計の1人あたり支給額は同1.4%増、官民計の支給総額は同2.7%増となる見通しである。

足元の県内消費には消費マインドの持ち直しなどを受けて再び上向きつつある様子がうかがえる。ボーナスの増加により消費者の購買意欲が高まることに加えて、消費増税前の駆け込み需要も消費活動を押し上げると見込まれることから、年末商戦は好調な動きになると予想される。

ボーナスを取り巻く環境は昨年に比べて大きく改善

今冬のボーナスを取り巻く環境は、昨年冬に比べて大きく改善している。

ボーナスの動向に大きな影響を与える最近の企業業績をみると、昨年末以降に進んだ円高修正などを背景に製造業を中心に回復傾向が鮮明になっている。日本銀行横浜支店「短観（神奈川県分、2013年9月調査）」によれば、2013年度上期の経常利益（見込み）は製造業で前年比31.7%増と大幅に増加したことから、全産業ベースでも同12.4%増と2桁の伸びになっている。また、10月以降についても、神奈川県内の景気は緩やかな回復傾向をたどっており、企業業績は増益の動きが続いているとみられる。このように企業業績が改善していることに加えて、安倍政権が産業界に向けて異例の賃上げ要請を行っていることなどもボーナス増額の支えになると考えられることから、今冬の神奈川県の間民ボーナスは昨年の水準を上回ると見込まれる。

民間ボーナスは1人あたり支給額が前年比1.8%増、支給総額が3.2%増

こうした状況を踏まえて今冬の県民ボーナスの予測を行ったところ、民間企業に勤める県民の支給対象者1人あたりの支給額は前年比1.8%増の45.6万円になると予測した（図表1）。前年比の伸びは、半期ベースで3期ぶりの増加に転じた今夏のボーナス（同1.6%増加）を上回る見込みである（図表2）。

企業規模別には、大企業が含まれる「県内在住かつ県内従業（30人以上事業所）」が前年比2.0%増の46.2万円と比較的高い伸びになると見込まれるほか、中小企業を多く含む「同（30人未満事業所）」でも31.9万円と同1.1%増になると予測した。また、神奈川県外で働く勤労者を対象とした「県内在住で県外従業」についても、都内の大企業を中心にボーナスの増額が見込まれることから同2.2%増の58.7万円を見込んだ（図表3）。

一方、企業の雇用者数は最近の景気持ち直しの動きを受けて「県内在住かつ県内従業（30人以上事業所）」、「同（30人未満事業所）」、「県内在住で県外従業」のいずれもが増加し、全体で前年比0.3%増になると見込んだ。また、雇用者のうちボーナスが支給される対象者の割合を示す支給者割合についても、企業業績の改善を受けてボーナスを支給する企業の比率が高まることなどから、割合が上昇すると予想される。この結果、民間1人あたり支給額に支給対象者数を掛け合わせた民間の支給総額は同3.2%増の1兆3,815億円となる見込みである。

なお、公務員1人あたりのボーナス支給額は前年比0.2%減になると予想した。この結果、民間と公務員を合わせた官民計の1人あたり支給額は同1.4%増となり、官民計の支給総額は同2.7%増の1兆5,825億円になると見込んだ。

ボーナス増加や消費増税前の駆け込み需要により年末商戦は堅調な動きに

最近の神奈川県内の消費動向をみると、夏場にいったん増勢が鈍化していたものの、秋口以降、消費マインドの持ち直しなどを受けて再び上向きつつある様子がうかがえる。また、乗用車や家具など高額商品の消費に増加の動きが現れるなど、来年4月の消費増税を見込んだ消費活動も一部で顕在化している模様である。こうした状況下、今後はボーナスの増加により消費者の購買意欲がいっそう高まると期待される。消費増税前の駆け込み需要も消費活動を押し上げると見込まれることから、年末商戦は好調な動きになると予想される。

【本件についてのお問い合わせ先】
（株）浜銀総合研究所 調査部 小泉 司
電話：045-225-2375（ダイヤルイン）

(図表1) 2013年冬の民間及び官民ボーナス

		民間	
		1人あたり支給額	支給総額
2013年冬		45.6万円 前年比：1.8%	13.8千億円 前年比：3.2%
2012年冬		44.8万円 前年比：1.5%	13.4千億円 前年比：1.1%

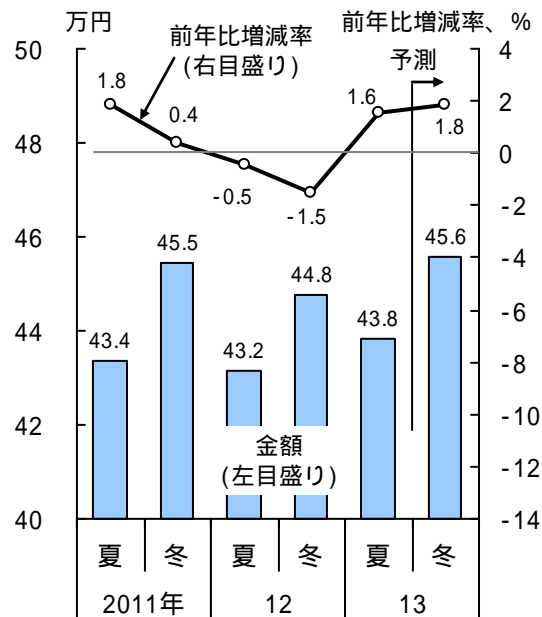
(民間ボーナス)

		官民計	
		1人あたり支給額	支給総額
2013年冬		48.6万円 前年比：1.4%	15.8千億円 前年比：2.7%
2012年冬		48.0万円 前年比：1.5%	15.4千億円 前年比：1.2%

(官民ボーナス)

(注1)「民間」は県内に住み県内で働いている人、県内に住み県外で働いている人の合計。
 (注2)「官民計」は「民間」と県民で公務に就いている人とをあわせたもの。
 (神奈川県「毎月勤労統計地方調査」、総務省「国勢調査」などより浜銀総研作成)

(図表2) 民間1人あたりボーナス支給額の推移



(注)2013年冬は予測値。それ以前は実績推計値。
 (神奈川県「毎月勤労統計地方調査」、総務省「国勢調査」などより浜銀総研作成)

(図表3) 民間ボーナス予測の概要

	雇用者数 (万人)	×	支給者割合	×	1人あたり 支給額 (万円)	=	総額 (千億円)
民間	355.9		85.1%		45.6		13.8
	0.3%		(+0.9%)		1.8%		3.2%
県内在住かつ県内従業 (30人以上事業所)	152.7		82.2%		46.2		5.8
同上 (30人未満事業所)	109.2		(+1.0%)		31.9		2.9
	0.2%				1.1%		2.6%
県内在住で県外従業	94.0		93.3%		58.7		5.1
	0.2%		(+0.5%)		2.2%		2.9%

(注1) 下段は前年比増減率。ただし、支給者割合については前年差。
 (注2) 雇用者数は、過去の伸び率などを参考にして求めたボーナス支給時点の予測値。
 (注3) 支給者割合は雇用者のうちボーナスが支給される者の割合であり、過去の変動を参考に予測した。
 (注4) 1人あたり支給額は、企業の景況感の動向等を説明変数とする関数推計などを参考に予測した。
 (神奈川県「毎月勤労統計地方調査」、総務省「国勢調査」などより浜銀総研作成)

以上

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。